愛知県議会議員

桜井ひでき

現場の声を
県政に!

県政レポート

2021年10月
発行：桜井ひでき事務所
vol.11

常任委員会は二重マスクで
臨んでいます！

message

コロナと上手く付き合っていく時代へ！

ワクチン接種も進み、デルタ株を含む第5波による感染者数の減少に伴い、緊急事態宣言が解除されました。明るい兆しも見えてきていますが、新たな変異ウイルスやワクチン接種後の感染に対する不安も残ります。**コロナが流行する以前の状態に戻るafterコロナには程遠く、コロナ禍で得られたメリットを含め、withコロナとして変化に合わせていく時代となるのではないでしょうか。**

今冬はインフルエンザの流行が危惧されており、従来通りの感染症対策の継続も必要です。

今年の夏、コロナ禍で開催となった、東京オリンピック・パラリンピックでは、厳しい時代に負けない強さや希望を強く感じました。withコロナを前向きに捉え、新しい時代へ一歩ずつ進みましょう!

TOPICS 1

一般質問に登壇しました！

愛知県の取組みを確認する機会をいただき、今回は、①愛知県が目指す自動車環境対策と②コロナ禍による県職員への影響について一般質問をさせていただきました。一部ですが紹介させていただきます。

一般質問の録画が
ご覧になれます▶

質問1　愛知が目指す自動車環境対策

桜井県議

Q　改正された地球温暖化対策の推進に関する法律を踏まえつつ、ライフサイクルアセスメントへの対応も含め、今後「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」にどのように取組んでいくのか伺う。

答弁　プランの中で燃料・エネルギーの製造段階から実際に走行する段階までのCO_2排出削減によるゼロエミッションの実現を目指し、自動車のライフサイクル全体で、ゼロエミッションを実現できる可能性がある。今後、EV・PHV・FCVの普及加速に主眼を置くと同時に再生可能エネルギーの普及拡大によるクリーンな燃料・エネルギーの確保について、国への働き掛けを行い自動車のライフサイクル全体でのCO_2削減を促進していく。

答弁する岡田環境局長

桜井の意見!　カーボンニュートラルへの実現に向けては自動車のみならず、エネルギー政策全体で進めるべき!

質問2　コロナ禍による県職員への影響

桜井県議

Q　コロナ禍において、従来にない多種多様な更なる県民サービスが求められている中、今までに感じたことがない肉体的・精神的な負荷が生じてくると感じる。県職員の働き方への影響についてどのように把握し、どう取組んでいくのか伺う。

答弁　2020年度は、過去10年間で2番目に時間外労働が多く、また、年間720時間を超えた職員も大幅に増加したことから時間外勤務を適切に管理するため、所属長等研修をおこない実態をきめ細かく把握する。また、職員を機動的に配置するとともに、業務の見直し等による負担軽減を図りながら全庁を挙げた対応を進めていく。

答弁する
川原人事局長

桜井の意見!　良い県民サービスを提供するには職員が元気で働くことが出来る環境が必要!

TOPICS 2

令和3年9月定例議会 第5波を乗り越えコロナ禍との共存に向け議論する議会を開会！

代表質問

9月定例議会が9月17日(金)～10月12日(火)までの会期で開催され、自由民主党･新政あいち･公明党の3会派が代表質問をおこない、新政あいち県議団からは、幹事長である森井元志議員(守山区選出:4期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。

質問1 コロナ禍における医療提供体制の確保に向けた取組み

代表質問する森井議員

Q **コロナ禍における医療提供体制は、新型コロナウイルス感染症への対応だけでなく、通常、病気に罹った際に安心して医療機関を受診できるという、両面に対応しなければならない。そこで、コロナ禍における医療提供体制の確保に向けてどのように取組んでいくのか伺う。**

大村知事 答弁 感染拡大により、入院が必要な患者に適切な医療が提供できず、県民の生命に関わる事態が危惧されたことから、**患者受入医療機関に対し、新型コロナウイルス感染症患者の最大限の受入れと、必要な人員を確保していただくため、医師が延期可能と判断した入院･手術の一時延期を依頼**した。なお、通常医療との両立も大変重要なため、救急や悪性腫瘍など時間の猶予がない疾患対応は継続していただけるように併せて依頼している。また、**入院病床は1,722床+α、うち重症者用病床183床+αを確保することが出来た。加えて、「愛知入院待機ステーション」20床、宿泊療養施設についても、新たに3施設519室を確保して合計で6施設1,628室とした。**

質問2 モノづくり産業を支えるデジタル人材の育成について

Q **本県は、本年4月に第11次愛知県職業能力開発計画を策定し、「モノづくり産業の集積拡充とデジタル化への対応の基盤となる高度な人材の育成」を目標に掲げ、職業能力開発施策を推進するとしている。モノづくり産業が今後も持続的に発展していく中で、デジタル人材の育成についてどのように取組んでいくのか、知事の所見を伺う。**

答弁する大村知事

大村知事 答弁 デジタル人材の育成をより強力に推し進めるため、**公共職業訓練を担う県立高等技術専門校において、2019年度、名古屋校にIoT人材を育成する「組込みシステム科」を設置**したのに続き、現在建替え整備中の岡崎校に**3Dモデリング科を設置、2025年度からロボットシステムに関する訓練科を新たに設置**する。また、産業界と連携して訓練カリキュラムの共同開発を行い、事業者の募集を開始した。さらに在職者を対象に、IoT等のデジタル関連の訓練を多数設定するとともに、企業からの要望に応じ、オーダーメイドで訓練を実施するなど、内容の充実を図っていく。

質問3 警察の風水害対策について

答弁する警察本部長

Q **本年7月の静岡県熱海市の土砂災害では、発災後3日目に捜索救助活動のために県警察の広域緊急援助隊が出動し、現場活動に従事した。初動対応を担う警察として、風水害が発生した際の対応について伺う。**

警察本部長 答弁 県警察では、風水害が県内で発生した際に110番通報などにより認知した被災情報を基に、映像情報の有効性を踏まえ県警察に配備されたデータ端末で撮影させた映像のほか、河川管理者等の管理するカメラ映像を活用するなど、警備本部で幅広く被災状況を集約･分析して現場指揮及び部隊運用を実施。また、**当県警察だけでは対処できない大規模な風水害が発生した際は、他の都道府県警察から広域緊急援助隊などの応援を受け、必要な災害警備体制を確保して警察の総力を挙げて災害警備活動に取組んでいく。**

9月定例議会補正予算

今年度の当初予算と合わせ、新型コロナウイルス感染症対策の総予算は、9月議会の補正予算1,239億円と合わせて6,848億円となりました。また、2019年度2月議会での補正予算20億円から累計で1兆1,387億円となりました。

主な事業概要

■「愛知入院待機ステーション」において、入院待機者の一時的な受入れ、酸素投与等を実施します。

設置場所	愛知県武道館(名古屋市港区)
設置規模	20床
処置内容	医師の診断により、酸素投与、心電図でのモニタリング、投薬、輸液等
配置人員	医師、看護師、救急救命士、事務員等24時間体制

■ 新型コロナウイルス感染症の軽症者等の増加に伴い新たな宿泊療養施設を東三河地域に開設します。

施設名	蒲郡ホテル
所在地	蒲郡市
部屋数	114室

※施設内には看護師･職員が常駐し24時間対応します。

■ 県立学校における新型コロナウイルス感染症対策や学習保障に必要な取組みの充実を図ります。

対象	県立高等学校 全149校 県立特別支援学校 全 30校
所要額	1校あたり90万円～360万円

※小中学校、私立高等学校は国より同対応。

■ 生活福祉資金貸付制度の特例措置の申請期間を延長します。

延長前 2021年8月31日 ▶ 延長後 2021年11月30日

《参考》
- **緊急小口資金**：一時的な資金が必要な方(主に休業)
- **総合支援資金**：生活の立て直しが必要な方(主に失業)

委員会質疑

愛知県議会では議案審議終了後、所管事項について一般質問をすることが出来ます。

1 労働力確保に向けた取組み

Q **リスキリング･学び直し(リカレント)の現状認識についてどう捉え、推進に向けどのように取組んでいくのか伺う。**

働く環境の変化は急激に進んでいることから早期の対応が必要！

答弁 離、転職者の再就職に向けた訓練や在職者のスキルアップは非常に重要と認識し、高等技術専門校で職業訓練を実施。また、在職者訓練は、幅広い分野で新しい知識や技術を身につけるための短期間の訓練を1,200人規模で実施している。今後は、**企業ニーズを的確に把握し、モノづくり分野に加え、デジタル分野等の様々な分野で即戦力人材の育成に取組む。**

2 これからの用地造成の在り方

Q **今後の用地造成事業については、再生可能エネルギー分野など企業ニーズに応えるとともに、SDGs理念に基づいて進めていくことが求められてくるが、どのように取組むのか伺う。**

企業が求めている付加価値を付けた企業立地が必要！

答弁 これまでに100haを超える規模の太陽光発電事業が立地。また、バイオマス発電事業についても1社が立地し、さらに複数社と企業立地に向けて交渉している。こうした取組みによって、**SDGsの理念に基づく17の目標のうち「働きがいも 経済成長も」や「産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に貢献していく。**

我々のなかま

参議院議員 浜口誠（はまぐち まこと）さんを紹介します！ Part 2

桜井がこの9月議会におこなった、「自動車産業の環境対策」における一般質問について事前レクチャーをしていただきました。

はまぐち誠参議院議員は議員連盟の事務局長として中心的な活動に努めています!!

浜口さんの国会での取組み

自動車産業における脱炭素化の推進に関する法律案を国会に提出!

＊自動車のカーボンニュートラル（CN）を実現するための課題を明確化

【法案のポイント】

- 2050年CN実現には、火力発電が約8割を占める**日本の発電分野の脱炭素化は必須**
- 脱炭素化の推進は、**電動車の普及、合成燃料、水素エンジン等、あらゆる選択肢を考える**とともに、**部品企業の構造転換支援と雇用確保**
- 自動車の製造（原材料の採取、部品等の製造）・使用・リサイクル・廃車等の自動車のライフサイクル全体でCO_2の排出や環境への負荷を把握・検証（**ライフサイクルアセスメント=LCA**）することが重要
- **国際標準化、国際炭素税のルールづくり**等、国際交渉での国の主導的役割の実践
- **まちづくりと電動車普及の連携推進**

はまぐち誠 公式サイトはこちらで検索

はまぐち誠　議員　検索

はまぐち誠チャンネル YouTube

日々の活動

7/7（水） 名誉市民 故 浦野烝興氏を偲ぶ会に出席（豊田市）

人生および政治家の大先輩であることに感謝と敬意の念をもって献花をさせていただきました。

7/8（木） 豊田市幹線道路整備促進協議会 愛知県要望会に出席

今後も党派・会派は異なりますが一緒になって事業に対して後押ししていきます!

7/13（火） 愛知県立大学看護学部 清水教授との意見交換会

命を守る行動として新型コロナウイルスのエアロゾル感染症対策について清水宣明教授より話を伺いました。

8/7（土） オイスカ創立60周年 シンポジウムに参加

これまで60年にわたり、国内外の国際協力の最前線で活躍する人材を輩出してきたオイスカ創立記念シンポジウムに参加させていただきました。

8/16（月） トヨタ自動車労働組合新任執行委員との意見交換会

議員活動や政策に対する想いについて自分なりの考えに加え、最後にアドバイスとして19人の同期の執行委員の繋がりを大切にしてくださいと申し上げました。

9/16（木） 日経SDGsフェス 特別フォーラムを聴講

カーボンゼロ時代の再資源化戦略をテーマとしたイベントにオンライン参加しました。冒頭、小泉元環境大臣より「サーキュレーターエコノミー」について報告がありました。

ホームページを是非ご覧ください ▶ https://sakurai-hideki.com/

発行：桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1

TEL 0565-71-1555　FAX 0565-29-0274